

分野融合型数物科学グローバル人材育成・コースガイド

(1) カリキュラム内容

本科生（博士後期課程）：各学年 10 名

コース修了要件：

15 単位 以上	コースが 定める 必修科目 4単位	① 異分野研究A ② 異分野研究B ③ 海外研修 ④ 国際プレゼンテーション	1単位（必修） 1単位（必修） 1単位（必修） 1単位（必修）
	各専攻が定める授業科目から11単位以上		
コースが定める修了審査合格			
博士論文の主要な内容を含む研究論文を査読つきの欧文誌に掲載			
博士論文の審査及び別に定める最終試験合格			
別に定める英語能力の基準の充足			

(注) 異分野研究 A, B は、所属研究室以外の他分野研究室において研究を行うものです。異分野研究 A では、本コースが新学術創成研究機構の各ユニットに関連する研究室を紹介します。異分野研究 B では、それ以外の国外または国内の研究室で研究を行います。博士後期課程滞在中に、海外研修に関する旅費を支援します。

(2) モデルケース

モデルケース 1：下記 1, 2, 3 を行う。

モデルケース 2：下記 1, 3, 4, 5 を行う。

1. 新学術創成研究機構を利用したラボローテーション

新学術創成研究機構の各ユニットに関連する研究室にて行われる研究を 2 週間以上体験する。数物科学を関連諸分野に応用できる力を養うため、自分の研究分野から少し離れた研究環境ですごす事により、視野を広げる。[異分野研究 A]

2. 海外留学によるラボローテーション。

海外留学先での研究室。1 ヶ月程度滞在。主研究室の研究と関連する研究を行う。語学留学とは異なり、専門分野の研究能力を海外で涵養する。[異分野研究 B, 海外研修]

3. 国際会議での研究成果発表

国内または国外で開催される国際会議で発表する。[国際プレゼンテーション]

4. 国内大学・研究機関内の研究室を利用したラボローテーション

分野融合型数物科学の研究能力を育成するために行う。数物科学を関連諸分野に応用できる力を養うため、自分の研究分野から少し離れた研究環境ですごす事により視野を広げる。[異分野研究 B]

5. 海外でのサマースクール等の短期プログラムまたは海外での国際会議に 5 日以上参加 [海外研修]